

◆校外学習のドキュメンタリー映画をつくろう

1 対象児童生徒（対象学級）の実態 <ul style="list-style-type: none">・知的障害のある生徒3名（男子2名、女子1名）の学級である。・2名は発達年齢が近く興味・関心も似ており、3名ともお互いに関心をもっている。・3名の力を合わせ校外学習のドキュメンタリー映画を作りたいと思っている。
2 指導目標 <ul style="list-style-type: none">・3名の話し合いにより、映画の構成を決めたり台本を作ったりする。・台本に沿って、見る側に分かりやすい映像となるように場面を選択して編集する。・映像と発表を合わせ、見る側の表情や反応を見ながら発表をする。
3 取組の中心となる教科・領域等 <ul style="list-style-type: none">・生活単元学習
4 使用したアプリ、周辺機器 <ul style="list-style-type: none">・iPad「iMovie」・TV・HDMI ケーブル
5 指導の経過及び児童生徒の変容 <ul style="list-style-type: none">・事前学習の時間に、自己目標の設定と映画作りについて学習をした。映画作りについては、校外学習でビデオを撮ること、その場所や物の説明をビデオに向かってすること等を学習した。完成形の見直しをもつため、以前 iPad で撮影した生活単元学習の様子ビデオを見た。・校外学習は12月5日に実施した。行った場所は、くじら資料館、夏みかんの原木等である。発達年齢が6歳6ヵ月と8歳9ヵ月の2名が中心となり、場所や物の説明を iPad のビデオカメラに向かって行った。1名は恥ずかしがってビデオカメラから遠ざかることもあったが、撮った映像をその場で確認した後は安心して2名と一緒に撮影に加わった。・編集作業では、最初に構成を決めて台本作りを行った。3名が案を出し合い、せりふや説明順等を決めていった。映像編集では、台本の流れに沿って、使用するシーンとカットするシーンを細かく決めた。挿入する音楽にもこだわり、アプリケーション内にもともとある音楽の中から、より自分たちの気持ちが伝わるものを選んだ。・本番では、見る人の表情や反応をよく見ながら発表することができた。映像とともに発表することで、伝えたい内容をより分かりやすく提示することができることを実感したようである。
6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等） <ul style="list-style-type: none">・事後学習の発表方法として「映画」という方法があることを提示することで、学習したことが見る人に伝わるよう、生徒自身が具体的な表現で説明したり、自分の言葉でまとめて伝えたりする意欲の向上を図った。・映像編集時には最初に構成を決定しておくことで流れが分かり、使用するシーンの選択をスムーズに行うことができた。・編集しながらすぐに映像を見ることができるため、確認しやすくフィードバック性が高い。